

NORDICA イタリア・ノルディカ社製 クックストーブ

ISETTA COOK (イセッタクック -11W HI-7119010)

ISOTTA COOK (イソッタクック -16W HI-7119110)

取扱説明書



ISETTA COOK

ISOTTA COOK



世界の名品に信頼を添えて

東証一部上場
ADVAN

このたびは、イタリア・ノルディカ社製のクックストーブをお買い上げくださ
いまして、ありがとうございました。

ISETTA COOKは35坪から40坪の部屋に適した性能を持ち、ISOTTA
COOKは45坪から50坪の部屋の暖房に適しています。

このストーブはヨーロッパの安全規格であるCEマークを取得し、快適性と
省エネを同時に実現します。

ご使用上の安全に関する指示に従い、使用上の注意に従った適切な情報
を知っておいてください。

また、ご使用の前に本説明書をお読みいただき、安全で快適な暮らしにお
役立ててください。

本製品に使用する材料には、アスベストもしくはアスベスト派生物を使用
しておりません。

また、溶接材料には関連する規格に規定されているようにカドミウムも含
まれておりません。

また、この取り扱い説明書は保証書を兼ねていますので、大切に保管して
ください。

目 次

安全上の注意	2
1 付属品	4
2 仕様	4
3 各部の名称	4
4 燃料について	5
5 ストープを使う	5
1 着火前の確認事項	5
2 着火の方法	6
3 通常での使用	7
4 季節の変わり目での使用	7
6 メンテナンス	8
1 煙道の清掃	8
2 ガラスの清掃	8
3 ガラスの破損	8
4 灰受けの清掃	8
5 夏期の未使用時	8
6 排煙の不良	9
7 煙道火災が起きたら	9
8 トラブルシューティング	10
保証規定・保証書	11

安全上の注意

お客様や他人への危害や財産への損害を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ずお読みになり、正しくご使用ください。
この章に記載されている注意事項は、安全に関する重要な内容です。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告表示について



警告

人が死亡または重傷、財産への損害を与える恐れがあります。



注意

人が怪我または製品に損害を与える恐れがあります。

警告



警告

ストーブをご使用になる前に、設置業者により、設置説明書に記載の作業と点検事項が正しく行われていたことと、煙突が清掃され、正常な状態であることを確認して下さい。



警告

ストーブに火が付いている時には、ストーブやその周辺でスプレーを使用しないでください。スプレー缶の爆発や引火の危険があります。



警告

幼児、老人、病人などが存在する環境でストーブを使用する場合は、ストーブとの接触事故を防ぐために専用ケージを使用してください。



警告

塩水や海水に浸かった流木や、ペンキ、薬品、接着剤など化学処理された木材、ガソリン、オイル、灯油、プラスチック、ビニール、紙類、生ゴミは絶対に燃やさないでください。有機物質の発生、及び、本体や煙突の変形、破損、そして火災の原因となります。



警告

ストーブ本体の上や周辺、及び煙突の周囲には、引火性のあるガソリン、灯油、揮発性のある液体や、スプレー缶などの高圧容器等を置かないでください。火災や有害物質の発生の原因となります。



警告

修理技術者以外の方は、本体や煙突の分解・修理を行わないでください。故障と思われる時は販売店にご相談下さい。



警告

ご就寝やお出かけの際には、ストーブの全てのドアが完全に閉まっているか確認してください。また、周囲に燃えやすいものが無いことをご確認ください。



警告

薪の入れ過ぎに注意してください。燃焼され過ぎた状態が続くと、本体や煙突が破損する恐れがあります。破損をしなくても劣化が早まりますので、燃焼空気の調整をして、天板の口元付近の温度を250℃前後で保ってください。



警告

本体及び煙突の設置は、建築基準法、及び消防法、お住まいの地域の火災予防条例に従ってください。また、火災報知器、煙感知器、消火器等が設置されていることをご確認ください。



警告

ストーブは室内の空気を燃焼し、その空気は煙突より排出されます。従って、室内には常に空気の流入が必要です。そのため、特に高气密住宅では必ず換気口を設けてください。また、室外に空気を強制的に排出する換気扇の使用は止めてください。室内に空気が供給されないと、酸素不足による一酸化炭素が発生する危険があります。



警告

灰の処理は、火の気が完全に鎮火したことを確認の上、不燃性の灰入れバケツに入れフタをし、不燃の床、そして可燃物の無い場所に保管してください。72時間以上経過してから、冷えていることを確かめて処理してください。可燃性のある物の上や場所に保管しますと、熱が伝わり火災の原因となります。



警告

万が一、煙道内火災が発生した場合には、速やかにストーブの各ドア及び空気調整レバーを閉じ、後に必ず専門業者に点検を依頼してください。



警告

灰受けドアを開けたまま使用しないでください。空気が調節できずに過燃焼となり、本体の破損や火災の原因となります。



警告

大きな地震や落雷があった場合、破損や変形を生じている可能性があります。ご使用前に本体や煙突の点検を必ず行ってください。異常が見つかった場合は、ご使用にならずお買い求めの店までご相談ください。



注意

お子様をストーブに近づけないでください。火傷や怪我の危険があります。あらかじめ、薪ストーブ用ケージを設けることをお勧めします。



注意

本体、煙突に強い衝撃を与えないでください。

注意



注意

ストーブの使用方法については、この取扱説明書をお読みください。



注意

ご使用中は本体や煙突が非常に高温になりますので、火傷には十分ご注意ください。ドアの開閉や薪の投入など、燃焼中に本体の操作を行う場合は、ストーブ用グローブをご使用ください。



注意

焚きはじめの数回は、お部屋を換気しながら行ってください。本体と煙突に塗られている塗料が熱せられ、煙とともに臭いが発生します。



注意

ご使用中、万が一火傷を負った場合は、応急処置として、すぐに患部を流水にて15分以上冷やしてください。なお、その際強い水圧は当てないでください。



注意

ご使用中にストーブの各ドアを開けたまま本体のそばから離れないでください。火の粉が飛ぶ恐れや、薪が転がり落ちてくる危険性がありますので、必ず扉が閉まっていることを確認してください。



注意

灰の処理は、ストーブ本体が冷えている状態で行ってください。火傷の原因となります。



注意

定期的に本体や煙突のメンテナンスを行ってください。使用しているうちにススがたまり、それが多くなると、引火して煙道内火災などの事故が起こる可能性があります。少なくとも1年に1回はメンテナンスを行ってください。

1 付属品

このストーブには次のものが同梱されています。
ご確認ください。

① 灰受け皿フック



② ストーブ用手袋



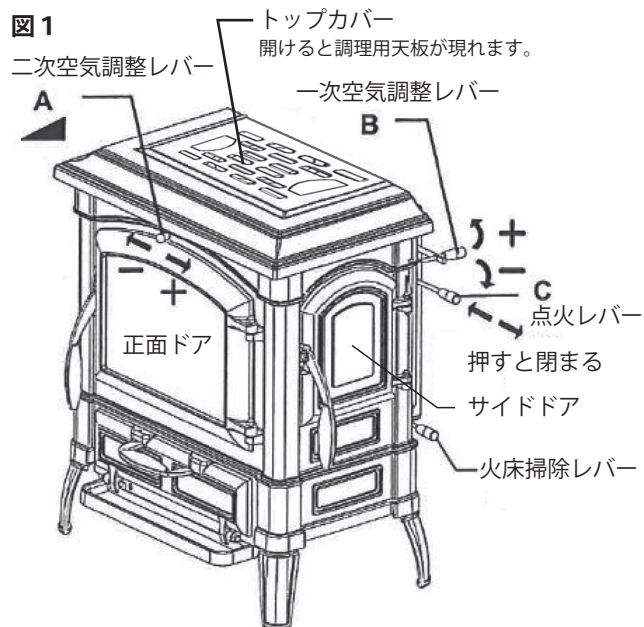
② 取扱説明書、保証書（本書）

② 設置説明書

2 仕様

	ISETTA COOK	ISOTTA COOK
最高出力 (kW)	11	16
暖房方式	輻射式	輻射式
暖房の目安 (坪)	35~40	45~50
薪長さ (cm)	45	55
熱効率 (%)	70.5	73
排気温度 (°C)	318	356
煙突径 (mm)	138	138
寸法 (mm)	610(W)×385(D)×759(H)	740(W)×590(D)×828(H)
重量 (kg)	150	190

3 各部の名称



このストーブには、燃焼用の空気を調節する一次燃焼給気口と二次燃焼給気口があります。

一次空気調整レバー (図1 B)

ストーブの後方右側にある一次空気調整レバーを使って、灰受けと火床の間の空気の流れを調整します。一次空気は、薪の燃焼に必要です。

一次空気調整レバーにはサーモスタットがついていて、燃焼が大きくなりすぎると自動的に空気口が閉まるようになっています。

灰受けは、灰が一次空気の流入を邪魔しないように定期的に空にしてください。一次空気は、火を保つためにも必要です。薪を燃焼中は、薪が速く燃え過ぎてストーブが過熱する恐れがありますので、一次空気調整器はごく短時間だけ開けます。

二次空気調整レバー (図1 A)

暖炉のドア上部に二次空気調整レバーがあります。このレバーを左右に動かすことにより、ストーブの燃焼スピードを調整し、薪を燃焼させるときに未燃焼の炭素の再燃焼が起こることを防ぎます。

煙突の排煙具合に応じて、少し開けたままにしておくと、ガラスを清潔に保つことができます。

4 燃料について

薪は、切断し割った後に、乾燥した風通しの良い場所で1年以上、できれば2年乾燥させた広葉樹材(ナラ、クヌギ、カシなど)の薪を使用してください。針葉樹は使用できません。

- 使用する薪の適切な大きさは直径10cm前後です。
- 一度にくべることのできる最大の薪の量は
イセツタクック: 70.5kg
イソツタクック: 73.0kg です。

湿気が多い薪を燃やすとストーブ本体、ガラス部、煙突内部に多量のタールが付着し、また熱量も大幅に低くなりますので、十分に乾燥した薪だけを使用してください。

コークス、家庭ごみを燃やすことは使用できません。これらを使用すると保証が無効になります。

新聞紙は着火の時にのみお使いください。

他の燃料に関しては、(株)アドヴァン、または販売店にお問い合わせください。

5 ストーブを使う

1 着火前の確認事項

最初に着火する前に、下記の点をご確認ください。

- ◆ 壁面からの距離は正しく設置されていますか? (設置説書参照)
- ◆ ストーブは水平に設置されていますか?
- ◆ 煙突に正しく接続されていますか?
- ◆ 床上80cm以内に紙などの可燃物は置かれていませんか?
- ◆ ドアはきっちりと閉まりますか?



注意

初めての着火の際は、燃焼室に塗布されたシリコンペイントが熱に反応して、煙と匂いがストーブから発生します。これは正常な反応であり短時間で解消しますが、部屋の換気は十分に行ってください。最初は、大きな薪は使用せずに、煙突内に残っている湿気を乾燥させるために2時間ほどゆっくりと燃焼させてください。

着火の際には以下の点に注意を払ってください。

1. ストーブが設置された部屋の空気の入替えを行ってください。
2. 使用開始時は、火室に燃料を入れ過ぎないようにします。
3. この後に、燃料の量を徐々に増やし(最大燃料量に関する記述に従ってください)、頻繁な着火/消火サイクルを避けて、長時間の燃焼を心がけます。

2 着火の方法

(1) 二次空気調整レバーを最大に開ける(右へスライドする)



(2) 一次空気調整レバーを最大に開ける(時計方向に回す)



(3) 点火レバーを引きだす



(4) 薪を2個くべる



(5) その上に丸めた新聞紙(着火剤)を置く



(6) 細かく割った焚き付け用の木を乗せる



(7)この状態で、ライター等で火をつけます



(8)ドアを閉じ、火が燃え上がったらいせつタックをいっぱい押し込み、一次空気調整器を反時計方向に回して閉じ、二次空気調整器で燃焼の状態を調整します。

(9)薪を追加するときは、サイドドアも使えます。



炉の扉のサイズが大きいので、煙の流出を防ぐために、ドアはゆっくりと開けてください。

3 通常での使用

安全上の理由から炉の扉は燃料供給時のみ開けるものとし、それ以外は扉は閉めたままにしてください。

薪を追加する場合は、炉の扉を開ける前に点火レバー(図1C)を引きだして開き、薪をくべ、扉を閉め、5分から10分経ったらレバーを押し込んでください。

通常の火力調整は、ストーブの右側にある一次空気調整レバー(図1B)により、ストーブの温度を調整します。必要な発熱量に応じて給気口を開閉します。

絶対にストーブに薪を入れすぎないでください。

燃料が多すぎると過熱の原因となりますし、ストーブの底部にクラック等を発生させてストーブを損傷する恐れがあります。ストーブの加熱による損傷には、保証は適用されません。過熱による損傷(クラック)を防ぐために、ストーブの扉はかならず閉じてご使用ください。

定格発熱量を得るのに必要な吸気口の調整は、下記となります。

レバー	イセツタック		イソツタック	
位置	図1(A)	図1(B)	図1(A)	図1(B)
状態	6 mm開	閉	5 mm開	4 mm開
毎時燃料量	2.7 kg/h		3.5 kg/h	

ストーブの燃焼が適切かどうか調べるには、煙突から出る煙が透明であることを確認して下さい。煙が白色の場合は、ストーブが適切に調整されていないか薪が湿っています。煙の色が灰色もしくは黒の場合は、不完全燃焼です(より多くの二次空気が必要)。

6 メンテナンス

最寄りの煙突清掃業者に、ストーブ本体、煙突への接続部を確認してもらいましょう。

塗装の表面の清掃には化学的な研磨剤を含まない洗剤を使用します。

1 煙道の清掃

適切な着火、適切な燃料の使用、適正な量の薪の投入、二次空気調整レバーの適切な調整がストーブの良好な燃烧のために重要です。

ストーブは、年に一度は、完全に清掃する必要があります。燃焼不良等により、必要があればその都度清掃してください。清掃は、必ずストーブが冷えている時に行ってください。

作業は、同時に煙道の点検(ススの確認)を行うことのできる煙突清掃業者によって行ってください。清掃が終了したら、取り外した部品をもとの位置に戻します。

2 ガラスの清掃

二次空気の流入によって、扉のガラスへの付着物は低減できます。しかし湿った薪などを使用すると、付着を防ぐことができません。



重要

扉ガラスの清掃は、ガラスを損傷しないために必ずストーブが冷えている時に行ってください。

扉ガラスの清掃には研磨剤を含む製品は、使わないでください。

3 ガラスの破損

使用しているガラスはセラミックガラス製で、750℃の耐熱性がありますので、熱による破損は受けにくいと考えられます。考えられる破損の原因は、衝撃だけです(物をぶつける、荒っぽい閉め方など)。従って、ガラスの交換は、保証には含まれておりません。

4 灰受けの清掃

ノルディカのすべての薪ストーブは、火床と灰を集める灰受けを備えています。灰受けは、満杯にならないように定期的に空にしてください。同時に、炉内には常に3-4cmの灰を残しておくことをお奨めします。



注意

炉から取り出した灰は、耐火性で密閉できる蓋のある容器に入れてください。

容器は、火が消えて完全に冷めるまで耐熱性のある床の、可燃物から遠い場所に置いてください。



5 夏期の未使用時

炉、煙突、煙道を清掃した後は灰や残留物を完全にに取り除き、炉の扉と給気口を閉じます。

煙道の清掃は、少なくとも年一回行ってください。同時に、ガスケットとストーブとの密着が悪いとストーブの性能を落とすことになるため、ガスケットの状態も確認して下さい。傷があれば交換します。

ストーブが設置されている部屋に湿気がある場合は、炉内に吸湿用の乾燥剤、または除湿剤を入れておくことをお奨めします。

6 排煙の不良



警告

正しく排煙を行うには、適切な取付けと運転が必要です。薪の補充を行うと一時的に煙が発生します。煙が常に出るのは危険な徴候なので、見過ごさないでください。排煙不良が続いたら、ただちに以下の緊急対策を行ってください。

- a) ドアや窓を開けてください。
- b) 煙道や煙突が詰まっていないか確認し、必要なら清掃します。
- c) 煙の原因が判明するまで火を点けないようにして、必要なら専門家の意見を聞いてください。

7 煙道火災が起きたら

煙突全体を定期的に清掃すれば煙道火災は発生しません。煙道火災が発生したら、エアークontrolレバーを閉じ、ストーブのドアをしっかりと閉じます。ストーブが完全に消えるまでこの状態を維持すれば、煙突火災はおさまるはずですが、火災がおさまったら煙突と煙道を清掃します。



警告

上記の対策を講じても煙道火災がおさまらない場合は、速やかに消防署に通報してください。煙道火災の後は、煙突に損傷がないか入念に確認します。必要があれば専門家に相談してください。

8 トラブルシューティング

症状	原因	対策
薪が燃えない。	<p>湿った薪を使っている。</p> <p>太い薪を使用している。</p> <p>給気の量が足りない。</p> <p>煙突がススでつまっている。</p>	<p>薪は一年以上乾燥させたものを使って下さい。</p> <p>最初は細い薪を燃やし、徐々に太い薪を燃やして下さい。</p> <p>二次空気調整レバーを開いてください(右へスライドする)。</p> <p>煙突掃除を行って下さい。</p>
室内に煙が戻る。	<p>換気扇が回っている。</p> <p>煙突の曲がりや横引きが多い。</p> <p>煙突の長さが足りない</p> <p>煙突がススでつまっている。</p> <p>煙突トップが詰まっている。</p>	<p>換気扇を止めて下さい。</p> <p>煙突の曲がりをなくして下さい。 (施工をやり直す必要がある場合があります。)</p> <p>煙突を追加する必要があります。</p> <p>煙突掃除を行って下さい。</p> <p>清掃を行って下さい。</p>
薪の燃焼が早すぎる。	<p>給気の量が多すぎる。</p> <p>細い薪を多く利用している。</p> <p>針葉樹を燃やしている。</p> <p>扉がしっかり閉まっていない。</p> <p>ドアシールが消耗している。</p>	<p>二次空気調整レバーを閉じてください(左へスライドする)。</p> <p>太い薪も使用して下さい。</p> <p>針葉樹は燃え尽きるのが早いので広葉樹の薪をお使いください。</p> <p>扉をしっかり閉めて下さい。</p> <p>ドアシールを交換して下さい。</p>
ドアガラスが汚れる。	<p>湿った薪を燃やしている。</p> <p>給気を絞るタイミングが早すぎる。</p> <p>扉がしっかり閉まっていない。</p>	<p>よく乾燥した薪をお使いください。</p> <p>低温で燃焼を弱めると、不完全燃焼になり、ススやヤニが発生しやすくなります。炎が薪全体に回ってから火力を調整して下さい。しかし弱く長時間燃やすとガラスの汚れは避けられません。</p> <p>扉をしっかり閉めて下さい。</p>

保証規定、及び保証書

*この保証書は本書に明示した保証規定のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*この保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

● 保証規定

1. 正常な使用状況で保証期間内に故障した場合は無償にて修理いたします。但し、出張修理の場合、交通費実費を申し受けます。
2. ご転居の場合は事前にお取扱い店にご相談ください。
3. 贈答品などで、本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼できない場合には(株)アドヴァンお客様相談窓口にご相談ください。
4. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責任を負いかねます。
5. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 1) 保証書の提示がない場合、及び期限切れの場合
 - 2) 保証書に所定の事項の記入がない場合、字句が書き換えられた場合。
 - 3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災・地変、公害や塩害による故障、および損傷。
 - 4) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障、および損傷。
 - 5) 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、および使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
 - 6) 本体外装部以外の消耗品(ガラス、ガスケット、パッフルプレート、火床、灰受け、耐火レンガ、ヒンジ等)が自然劣化・消耗した

場合。

- 7) 指定以外の燃料を使用した場合。
- 8) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下による故障、および損傷。
- 9) 取り扱い説明書に記載されている注意に反するお取り扱いによって発生した故障、および損傷。
- 10) 煙突部分。
- 11) 下地の強度不足、建築躯体の変形等の不具合に起因する故障、および損傷。
- 12) 工事の不具合により発生した故障、および損傷。

● 修理のご依頼について

1. 部品交換や修理については販売店へご相談ください。
2. 修理期間は製品・部品によっては時間がかかる場合がございますのでご了承ください。
3. 修理期間中の代品の貸出しは一切行っていません。



株式会社 アドヴァン お客様相談窓口
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 4-32-14
TEL. 03-3475-0291 FAX. 03-3475-0308

保 証 書

製品名	イセッタクック-11W HI-7119010 イソッタクック-16W HI-7119110	いずれかを○で囲んで ください	シリアルNo.
保証期間	(納入日)	年 月 日より	1 年
お客様名			
ご住所	〒 -	お電話番号	
設置場所	〒 -	お電話番号	
取り扱い支店(販売店)名			

*この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

